

第 1 回 学期制の在り方懇談会（概要）

- 1 日 時：平成 28 年 11 月 17 日（木）午後 7 時から
- 2 場 所：役場 2 階 201 会議室
- 3 出席者：中学校長代表、小・中学校教頭代表、小・中学校教務主任
小・中学校 P T A 会長・教育委員会事務局（教育部長・総括指導主事・
学校教育課長・担当指導主事）

4 内 容

①教育長挨拶

②座長、副座長の決定

精華南中学校長（座長） 精華台小学校教頭（副座長）

③事務局からの報告

- ・これまでの経過について
- ・2 学期制推進委員会での検討内容の報告について
- ・学期制の検討スケジュールについて
- ・中学校において 3 学期制を実施した場合の課題点について

④意見交流（抜粋）

- ・小学校と中学校で学期が異なるということについては、混乱する。
- ・2 学期制に慣れても高校に行けば 3 学期制になるため、考える必要がある。
- ・2 学期制の場合、夏休み明けに、すぐ定期テストがあり、負担感が大きい。特に夏休みの後半は、宿題とテスト勉強に追われ、子どもたちにとって大変である。
- ・基本的には子どもは、順応性があり 2 学期制でも 3 学期制でも対応できる。
- ・親としては、学期の間に夏休み、冬休みがある 3 学期制の方がけじめがあって良い。
- ・2 学期制はテストの回数が少なく、失敗したら、再チャレンジすることが難しい。
- ・3 学期制にした場合、教師の負担感が心配である。成績処理、部活指導など日々の仕事に追われるため、部活の外部指導員を入れるのも一つ方法である。
- ・親として、これまで学期制について、意見を言う場がなかった。
- ・2 学期制の場合、成績が出る回数が少ないため、塾で成績を知るため、塾に通う人が多い。
- ・PTA として保護者にアンケートを取りたい。

5 その他

次回開催予定 12 月 21 日（水）午後 7 時から